

コミュニティバスの利用促進について

本日いっしょに考えていただきたいこと

- コミュニティバスは、なぜ必要なのか？
- コミュニティバスをどうやって残すのか？・利用促進策は？

地域公共交通を取り巻く状況

- ① 全国的な地方部における問題
人口減少、少子高齢化の加速による輸送人員の減少
→公共交通網の縮小、サービス水準の低下
- ② 国の施策の方向性
コンパクトシティ・プラス・ネットワーク
「地域公共交通網形成計画」の作成を通じ支援

路線を見直しました

- ・住民アンケート、利用者ヒアリング、住民検討会、専門家による会議など、広く皆さんの意見を反映し、①安全性 ②利便性 ③経済性の視点に路線再編を実施しました。(H28.4)

①安全性

- ・4路線化し1周の延長を短縮
- ・長時間の連続運転を解消し、安全性が向上

②利便性

- ・商業施設6店舗の施設内または施設付近にバス停を設置
- ・運行本数を増加

③経済性

- ・昼間時間帯は市内線・南部線を一体化し、運行効率を向上



コミュニティバスは、なぜ必要なのか？

コミュニティバスが必要な「3つの理由」

- ① 高齢者のお出かけを「守る」
- ② 車のない生活を「守る」
- ③ まちを「守る」

高齢化の進展(2025問題)

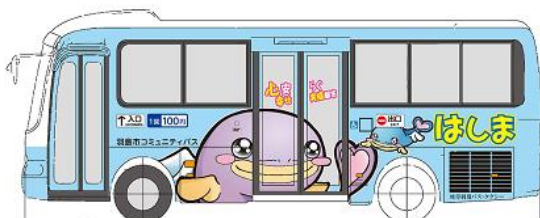
- ・今後コミュニティバスの必要性が高まることが予想

高齢者と自動車運転

- ・75歳以上の運転免許証の更新方法が変更

まちづくりの観点

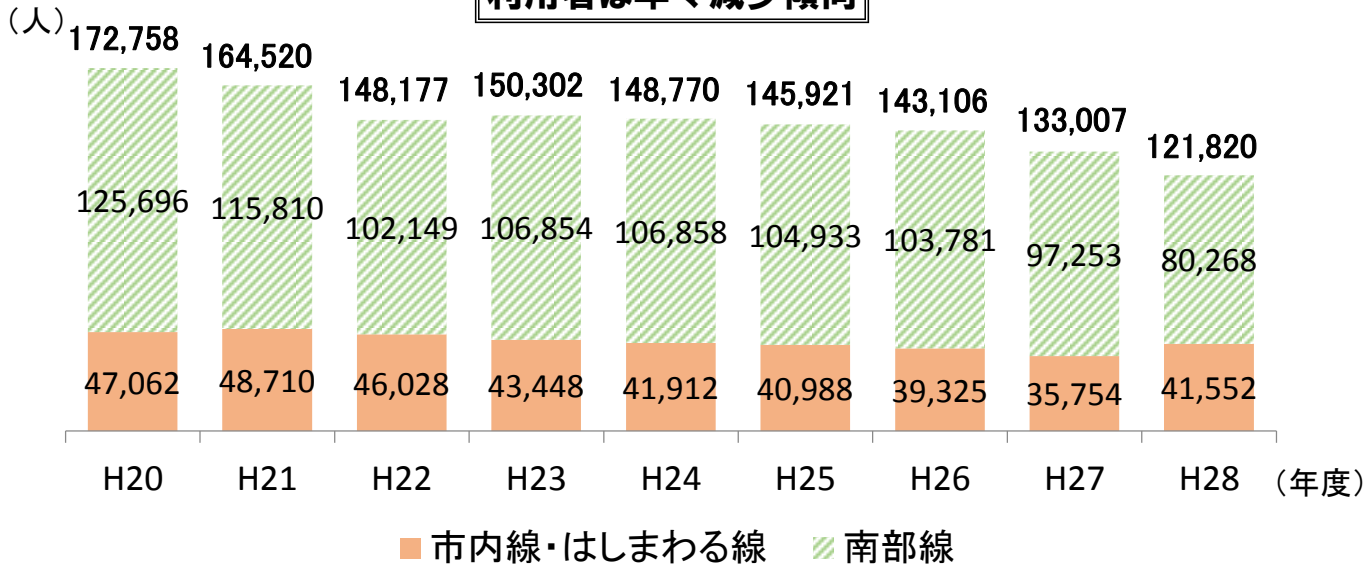
- ・拠点となる岐阜羽島駅へのアクセス手段として公共交通の確保が必要



羽島市コミュニティバスの現状

利用者数の推移

利用者は年々減少傾向

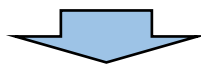


収支率



利用促進・収支改善に向けた取り組み

- コミュニティバスのPR
(『わたしの時刻表』の作成)
- 時刻・乗換案内サービスの導入
(ジョルダン乗換案内)
- 公共交通利用ガイドの発行
- 割引制度の導入
(一日乗車券、高齢者定期券など)
- バス車両のラッピング
- バス停案内表示の充実
- 待合スペースの設置
(JR岐阜羽島駅、羽島温泉など)



健全な存続を目指した利用者増に向けたアイデア、ご意見、感想を！